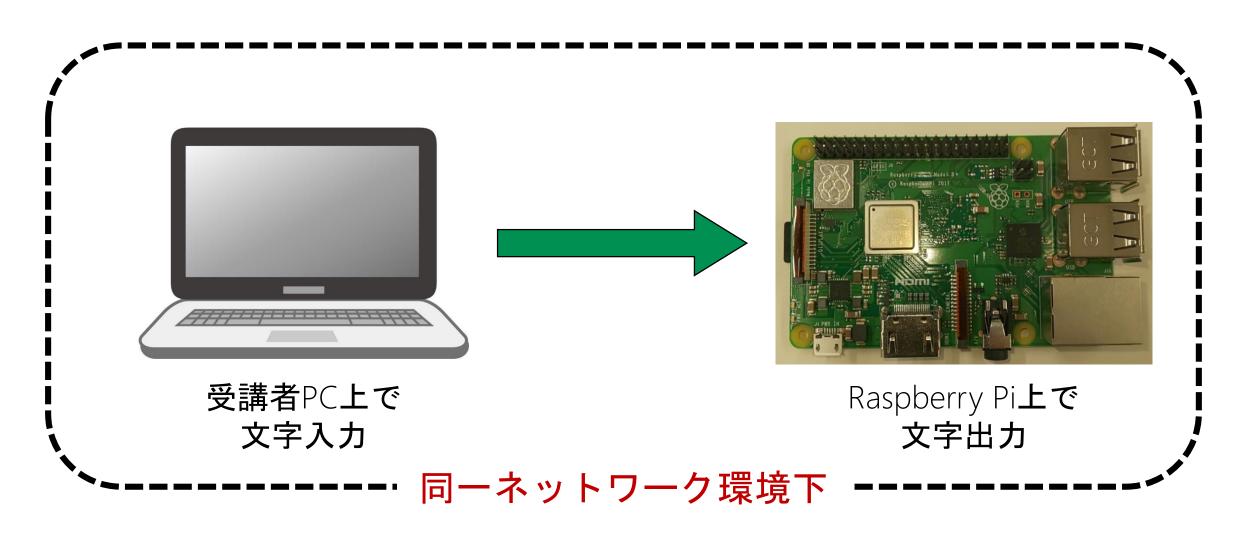


8コマ目 サンプルコンポーネントの実行





システム概要図





Raspberry Piでの設定





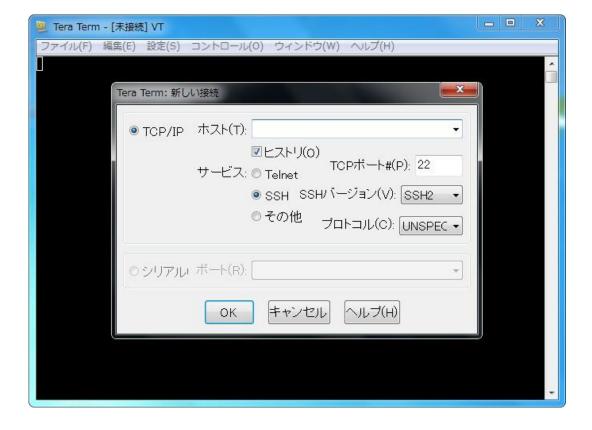
Raspberry Piにアクセス

• PCとRaspberry PiをUSBケーブルで接続し,

Raspberry Piに電源を供給

- TeraTermでRaspberry Piに接続
 - ・ホスト名またはIPアドレス入力
 - IDとパスワード入力ユーザー名:pi

パスフレーズ:raspberry





NameServer,RTコンポーネント起動

- 下記のコマンドを端末に入力して, NameServerを起動
- \$ rtm-naming
- 下記のコマンドを端末に入力して, RTコンポーネント(ConsoleOut)を起動
- \$ /usr/share/openrtm-1.1/example/ConsoleOutComp



講習者PC側での設定





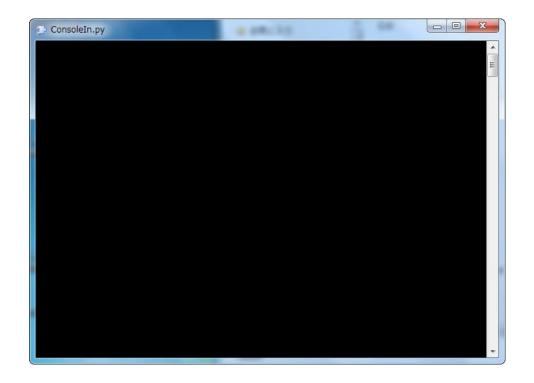
NameServer起動

• [スタート]メニューから[OpenRTM-aist x.y]→[Tools]→ [Start Naming Service]を起動



RTコンポーネント(ConsoleIn)起動

• [スタート]メニューから[OpenRTM-aist x.y]→[Python→ [Components]→[Examples] →[ConsoleIn.py]を起動





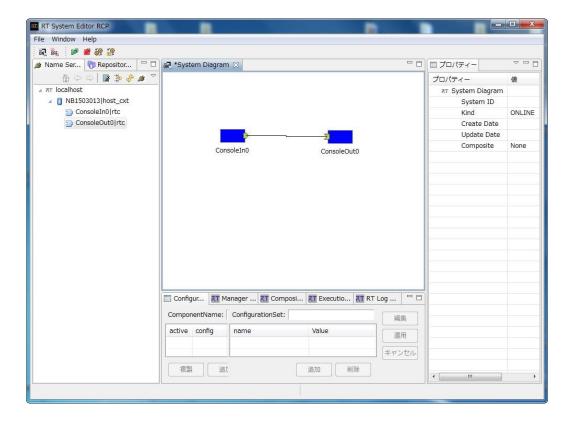
RTSystemEditorの使い方





RTSystemEditor概要

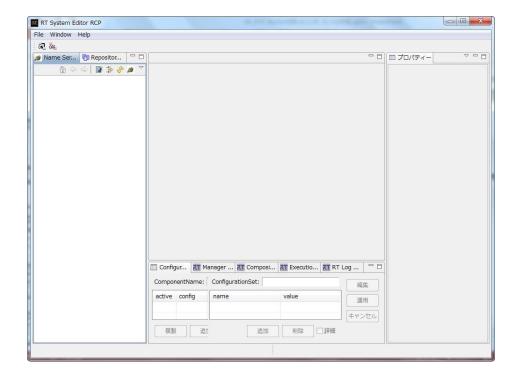
• RTコンポーネント同士を接続してRTシステムを構築するツール





RTSystemEditor起動

• [スタート]メニューから[プログラム]→[OpenRTM-aist x.y]→ [Tools]→[RTSystemEditorRCP]を起動



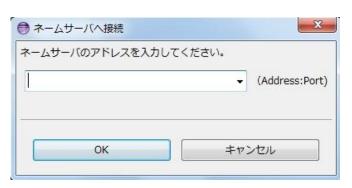


NameServer接続方法

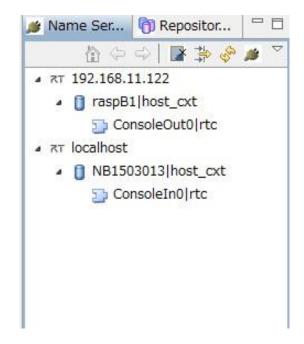
1. Name Service View の コンセントアイコンをクリック



2. ネームサーバのアドレスを 聞かれるので,ホスト名か IPアドレスを記入



3. Name Service Viewに 記入したものが記載すれば, 接続完了

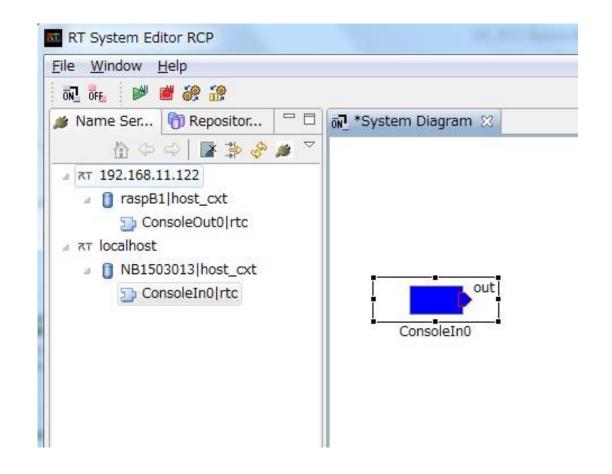




コンポーネント配置

• System Diagramが 開いてない場合は, [ON]のボタンをクリックする

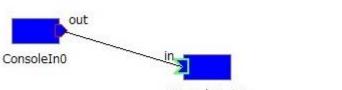
対象コンポーネントを ドラックアンドドロップで, System Diagramウインドウに コンポーネントを配置する

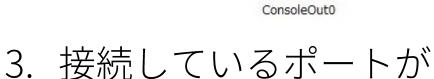




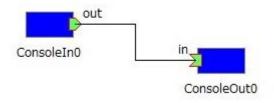
コンポーネント接続

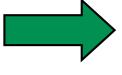
1. 接続元のポートから 接続先のポートまで ドラックアンドドロップ

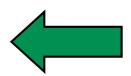




3. 接続しているポートが 緑色になれば完了







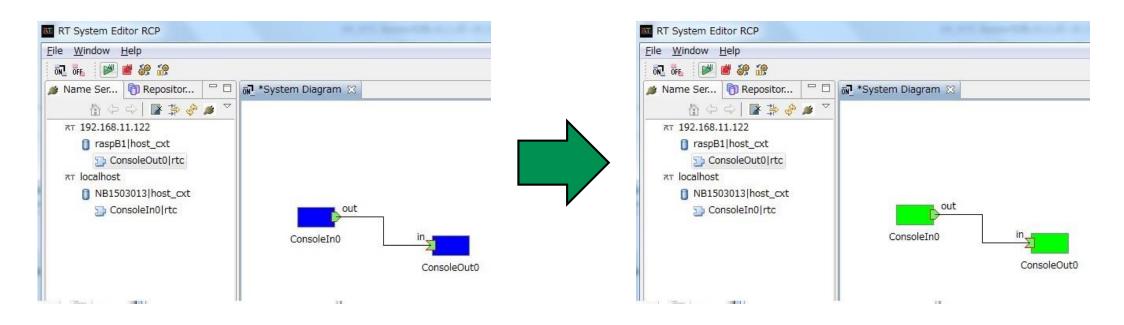
2. 接続プロファイルを記入して OKをクリック

ConnectorProfileを入	カしてください。	
Name :	ConsoleIn0.out_ConsoleOut0.in	
Data Type :	IDL:RTC/TimedLong:1.0	Ŧ
Interface Type :	corba_cdr	-
Dataflow Type :	push	-
Subscription Type :	flush	-
Push Rate(Hz) :		
Push Policy :	all	-
Skip Count :		



コンポーネントアクティベート

- 画面の緑色の再生アイコンをクリックするか, 右クリックから[All Activate]を選択することでアクティベート
 - すべてのコンポーネントが緑色になれば正常にシステムが動作





コンポーネント動作確認

- ConsoleInコンポーネント
 - ウィンドウに数字を入力



- ConsoleOutコンポーネント
 - ウィンドウに入力した数字を表示

